

第2回国際関係専門部会の結果について
(部会長報告)

平成15年4月22日

1. 開催日程

日時：平成15年4月10日(木) 13:30～15:50

場所：中央合同庁舎4号館2階 共用220会議室

出席者：(別紙)

2. 開催結果

(1) ロシア非核化協力

ロシア核解体協力、日露原潜解体協力について外務省より説明があった。
原潜解体の進捗状況、解体された際に発生する放射性廃棄物の処理などについて意見があった。

(2) 原子力損害賠償制度

原子力損害賠償制度及び海外の状況について文部科学省より説明があった。
早期に検討すべきとの意見があった。

(3) 原子力国際協力

原子力に関する最近の国際協力の状況について、文部科学省、外務省、経済産業省よりそれぞれ説明があった。

原子力2法人統合において、統合される新法人の業務の柱として、国際協力業務が重要であるとの意見があった。

(4) 核燃料サイクルをめぐる国際的動向

核燃料サイクルをめぐる国際的動向について、経済産業省より説明があった。

核物質の国際輸送は必要であるが、問題もあり、各方面のバックアップが必要との意見があった。

(5) 保障措置についての最近の動き

I A E A 追加議定書、核物質防護条約について、外務省より説明があった。

追加議定書と核物質防護条約は核不拡散政策上最も重要なものであり、米国を含む多くの国に参加して欲しいなどの意見があった。

(6) その他

遠藤部会長より、原子力 2 法人の統合における国際協力のあり方などについて発表があった。

以 上

(別紙)

原子力委員会 第2回国際関係専門部会 出席者リスト

原子力委員

藤家 洋一	原子力委員長
遠藤 哲也	原子力委員長代理
竹内 哲夫	原子力委員

参 与

下山 俊次	日本原子力発電(株)顧問
鳥井 弘之	東京工業大学原子炉工学研究所教授
町 末男	(社)日本原子力産業会議常務理事

専門委員

青木 輝行	電気事業連合会原子力対策委員会委員長
浅田 正彦	京都大学大学院法学研究科教授
石川 迪夫	(財)原子力発電技術機構技術顧問
石橋 忠雄	弁護士
岡崎 俊雄	日本原子力研究所副理事長
河原 暁	日本電機工業会原子力政策委員会副委員長
神田 啓治	エネルギー政策研究所所長
宅間 正夫	(社)日本原子力産業会議専務理事
千野 境子	産経新聞大阪本社編集局特別記者兼論説委員
馬場 信三	電気事業連合会海外再処理委員会事務局長
松田 慶文	国際交流サービス協会会長
目黒 依子	上智大学文学部社会学科教授
田中 三雄	核燃料サイクル開発機構国際・核物質管理部長

関係省庁

外務省 科学原子力課	篠原 課長
外務省 軍備管理軍縮課	小笠原 課長
文部科学省 原子力課	中西 課長
経済産業省 原子力政策課	岡谷 企画官
内閣府 科学技術政策担当	永松 大臣官房審議官
内閣府 科学技術政策担当	榊原 参事官
内閣府 科学技術政策担当	犬塚 参事官補佐